

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	スタッフ個々の力量やモチベーションが異なるため、 個々のスタッフに合わせた育成が必要である。離職率 も高く、職員の定着率が低い。	法人独自の、ケア基準書を今年度より全職員へ配 布している。そのマニュアルを基に、指導方法を統 一していく。指導者は、マニュアル研修に参加し、 指導内容のずれがないように目指している。	管理者・リーダーは、ケア基準書を基に、スタッフの評 価制度を今年度より導入し、知識と技術の向上を図 る。 又、月1回のスタッフ面談を実施し、チームケア、人間 関係の構築に努める。	12ヶ月
2	2	地域に貢献できるグループホームを目指して定期的に 朝市、認知症カフェを開催している。また地域包括セン ター主催のいきいき体操実施の場所の提供の取り組 みも行っているがなかなか周知していただけない。	朝市は2017年12月より社会福祉協議会と協力し 毎月開催している。毎月ビラを輝豊苑で300枚作成 し配っているが客足が一定しない。輝豊苑の場所 を提供させて頂き地域の皆様のコミュニティの場と して活性化し、周知して頂くために今後はフリー マーケットやオレンジリンクや認知症の勉強会の開 催など、地域住民のお役に立てる施設を目指して いく。	9月からフリーマーケット開催や毎週日曜に「いきい き体操」を地域の皆様が主体となって開催して頂ける場 として輝豊苑1階のディサービスの場を提供させて頂 き、地域のコミュニティの場として楽しんで頂けるよう な取り組みを行っております。	6ヶ月
3	5	不適切なケアから職員が気づかないうちに虐待に繋 がらないように勉強会を開催しているが知識不足から 不適切なケアを行っていることもある。	法人内で過去に虐待の事案があったことを強く反 省し2度と過ちを繰り返さないことを肝に銘じ、活発 に勉強会を開催している。また3ヶ月に1回、虐待防 止委員会を開催している。虐待はないが意識せ ず、不適切なケアを行っていないか、毎月カンファ で話し合ってケアの統一や改善に努めている。	毎年、虐待の勉強会を行い、具体的な事例を踏まえ、 グループワークを主に、知識の習得に努めている。 毎月のカンファ等では、意見の集約し、不適切なケア が行われていないか見直している	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。